

# 製品安全データシート

会社 株式会社コートテック  
住所 横浜市青葉区新石川3-3-1 西山ビル4F  
担当者 咲間 毅  
電話番号 045-910-6646 FAX番号 045-910-6647

整理番号： 0707

改定： 2008年1月10日

製品名 (商品名)： **CK-N2**

製品説明 (種類)： 紫外線硬化型樹脂

1、組成・成分情報 単一製品・混合物の区分： 混合物  
化学名：UV硬化形ウレタンアクリレート樹脂

## 成分及び含有量

成分名	含有量 (%)	官報公示整理番号 (労働安全衛生法)	CAS番号
ウレタンアクリレート	50~60		
アクリルモノマー	35~55		
その他添加剤	5~10		

## 2、危険有害性の要約

分類の種類： 分類基準に該当しない。  
危険性： 過酸化物により重合発熱する。  
有害性： 眼、呼吸器及び皮膚を刺激する可能性がある。

## 3、応急処置

目に入った場合： 直ちに清浄な水で15分間以上目を洗浄した後、速やかに眼科医の手当を受ける。  
皮膚に付いた場合： 直ちに石鹸を用いて、製品に触れた部分を水又は微温水を流しながら洗浄する。  
汚染された衣類などは、速やかに脱ぐ。かゆみ、炎症、痛みがある場合は直ちに医師の手当を受ける。  
吸入した場合： 直ちに患者を毛布などで包んで安静にさせ、空気の新鮮な場所に移す。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行い速やかに医師の処置を行なう。  
飲み込んだ場合： 直ちに患者を毛布などで包んで安静にさせ、意図的に嘔吐させてはいけない。患者に意識がない場合は口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。速やかに医師の処置を受ける。

## 4、火災時の処置

消火法： 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂などを用いる。  
大規模火災の際には、泡消火器などを用いて、空気を遮断することが有効である。  
棒状水の使用は火災を広げ危険な場合がある。  
周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却する。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
消火作業は保護具を着用し、風上から行なう。  
消火剤： 粉末・炭酸ガス・泡、乾燥砂

## 5、漏出時の処置

- 少量の場合 : 布や砂で直ちにふき取り、容器に回収する。  
多量の場合 : 上砂などで囲いを作って流出防止を図ると共に火源を断ち、消化用機材などを準備し、火災発生の防止に努める。保護具を着用して漏出液を可能な限り容器に回収する。河川、下水、用水路などに流してはならない。

## 6、取り扱い及び保管上

- 取扱い : 火気、電気、衝撃、花火などの着火源を生じないように注意する。  
取り扱い作業は換気の良い場所で行なう。  
保護具（保護眼鏡、ゴム手袋等）を着用する。  
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える等の乱暴な取り扱いをおこなわない。
- 保管 : 容器に漏れのないことを確認する。  
冷暗所に保管し、火気を近づけない。  
危険物設備で保管し、酸化性物質、有機過酸化物と一緒に置かない。

## 7、暴露防止処置

- 管理濃度 : 作業環境作業基準（平成7年労働省告示第26号）  
指定なし（アクリルモノマー）
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値（1999年度版）  
指定されていないアクリルモノマー  
AGGIH（1999年度版）
- 設備対策 : 局所排気処置、防災シャワー、手洗い、洗顔設備の設置。  
防災シャワー、手洗い、洗顔設備の設置。
- 保護具 : 有機ガス用マスク、送気マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護着（静電対策が施されたものが望ましい）を着用する。
- 保護眼鏡 : 側板付普通眼鏡型、ゴーグル型

## 8、物理・化学的性質

- 物理的状态 : 液体  
色 : 無色透明  
臭い : わずかにモノマー臭あり  
PH及びその濃度 : データなし  
物理的情報が変化する特定温度/温度範囲 : 知見なし  
比重 : 1.09~1.15 (25℃)  
溶媒に対する溶解性 : 水に不溶  
引火点 : 172℃ (アクリルモノマー)  
爆発限界 : データなし

## 9、安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の手扱い条件においては安定  
特定条件下で生じる危険な反応 : 熱、光、過酸化、酸化物等との接触により重合・発熱する。  
危険有害な分解生成物 : 知見なし

## 10、有害性情報

- 急性毒性 : データなし  
局所効果（皮膚、眼） : 皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長時間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。また、繰り返し、長時間の接触、又は吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。蒸気は呼吸器、眼に刺激性がある。繰り返しの接触は結膜炎を起こす。  
変異原性 : データなし（アクリルモノマー）

## 11、環境影響情報

データなし（アクリルモノマー）

## 12、廃棄上の注意

ウエス等に染み込ませた後、焼却処分を行なう。

空容器を処分するときは内容物を洗浄又は焼却により、完全に除去した後、処分する。

## 13、輸送上の注意

容器に漏れないことを確かめ、容器の転倒、落下、摩擦等、容器が破損しないよう積み込み荷崩れ防止を確実に行う。

混載する場合は、消防法危険物Ⅰ類、第6類危険物、不活性ガスを除く高圧ガス（アセチレン、酸素）とは混載してはならない。タンク（ローリー）等への補填、積み下ろしの際には、サイドブレーキを掛けエンジンを停止させ、車止めを施し、作業を行なう。

消防法、道路運送車輛法、船舶安全法、港則法を厳守する。

## 14、適用法令

消防法： 危険物 第4類 第3石油類（非水溶性液体、危険等級Ⅲ）

## 15、その他の情報

引用文献

- 1 12093の化学商品 化学工業日報社
- 2 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており新たな見地により改正されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。

内容の情報を提供するものであって、保証するものではありません。